

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	英会話	科目区分	一般教養科目	
履修期間	後期	履修要件	なし	
必修・選択	選択	単位数・回(実日程)	1単位	15回
設置学科・コース	ファッション総合科	対象課程	基礎課程	
教員	梨本 雅子	授業担当・外部講師	梨本 雅子	
授業の概要(科目のねらい)				
ファッション用語を含む基本的英会話力の取得 カラー・柄・素材・スタイルの表現方法及び日常英会話(買い物・旅行等)・文法・海外トレンド理解				
到達目標・習得技術				
英語による自己紹介と簡単な会話がスムーズにできる。 ファッションに関する英単語や英語表現の知識定着				
授業方法・形態				
オンラインにて、オリジナル資料による学習と相互会話 課題提出と会話の繰り返しによる復習 期末テストによる理解力確認				
項目	授業計画・内容			授業時数
1	授業内容説明・自己紹介・はじめの会話解説・個別英会話実施			1.25 時間
2	アルファベットの発音・基本英単語			1.25 時間
3	少ない単語でコミュニケーション・個別英会話実施			1.25 時間
4	サイレントレター・英語と和製英語の違いについて(勘違い英語を知ろう)			1.25 時間
5	英語でのいろいろな表現(数字・敬称・続柄・図形・体のパーツなど)			1.25 時間
6	ファッションに関連した単語の基本知識1(スタイル・種類等)			2.5時間
7	ファッションに関連した単語の基本知識2(素材・柄等)			2.5時間
8	アメリカとイギリス英語の違い			1.25 時間
9	海外での買い物における基本会話・個別英会話実施			1.25 時間
10	日本と海外の使用単語の違いについて(ファッション用語含)			2.5時間
11	生活に密着した英単語および日常的な行動の表現			1.25 時間
12	英語の不思議・英語圏と日本の文化の違いとジェスチャー			1.25 時間
13	英語スラングとイディオム・テストのための総合復習(単語・基本会話)			2.5時間
14	期末テスト実施(オンライン)			1.25 時間
15	テスト解答解説・英語視聴用おすすめ映画紹介			2.5時間
				合計時数
				25 時間
終了成果物・修了試験・修了課題				
オリジナル作成期末テスト(オンライン) 選択式回答・正誤式回答による25問問題				
評価方法・評価基準				
出席と授業参加評価(個別会話実施) 期末テスト点数				
教科書・参考書・資料・文献				
オリジナルPowerPoint資料 『WORD by WORD English Picture Dictionary』				
担当教員の経歴・実務経歴		教員種別	科目所属科長	
ISSEI MIYAKE/パリコレ衣装制作アシスタント・株式会社ワールド オリジナルブランドデザイナー 舞台衣装デザイン及び製作・アパレルブランド総合プロデューサー・アパレルグラフィックデザイナー TFACグラフィックデザイン及びビジネス関連授業担当・現在アメリカロサンゼルス在住		講師	ファッション総合科 伏見幸恵	

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	情報処理基礎 I	科目区分	一般教養科目	
履修期間	前期	履修要件	なし	
必修・選択	選択	単位数・回(実日程)	1単位	11～16回
設置学科・コース	ファッション総合科・ファッション造形科	対象課程	基礎課程	
教員	福嶋 哲平	授業担当・外部講師	豊泉 彩乃	
授業の概要(科目のねらい)				
<p>将来的に必要な情報処理の基礎能力を身につけることを目的とする。 Microsoft Office (PowerPoint、Excel、Word)を中心に、情報の整理・加工・表現・伝達の基本的な方法を学習し、レポート作成、資料作成、簡単なデータ処理を適切に行える能力を養う。また、複数のオフィスソフトを連携させた作業を通じて、他授業と連動した情報、プレゼンテーションツール制作力を身につける。</p>				
到達目標・習得技術				
<p>図案構成の基本を理解し、シルクスクリーン製版・プリントの基本技法を習得。 染色手法(抜染、捺染、防染など)、用具の基礎知識と作業工程を身につける。 自らのコンセプトに基づいたオリジナルテキストスタイルを制作。制作過程を振り返り、デザイン意図を言語化して発展性を研究考慮したプレゼンテーション力。</p>				
授業方法・形態				
<p>PowerPointを用いて、目的に応じた資料を作成、複数のOfficeソフトを連携させ、情報を統合した成果物を作成できる Excelを用いて、基本的な表作成・計算・グラフ化、Wordを用いて、体裁の整った文書(レポート)を作成できる 情報処理の基本的な考え方(正確性・再現性・可読性)を理解</p>				
項目	授業計画・内容			授業時数
1	オリエンテーション 「PC操作の基本」情報処理の基礎、Officeソフトの役割			2.5時間
2	PowerPoint①:プレゼンテーションの構成、スライド作成の基本			2.5時間
3	PowerPoint②:図表・画像の挿入、視覚的表現の工夫			2.5時間
4	PowerPoint③:発表資料の完成、簡単な発表演習			2.5時間
5	Excel①:表計算の基礎、データ入力、基本的な計算			2.5時間
6	Excel②:相対参照・絶対参照、簡単な関数(SUM、AVERAGE等)			2.5時間
7	Excel③:グラフ作成、データの可視化			2.5時間
8	Excel④:データ整理と活用(並べ替え、簡単な分析)			2.5時間
9	Word①:文書作成の基礎、書式設定、段落構成			2.5時間
10	Word②:表・図の挿入、レポート形式の理解			2.5時間
11	Word③:見出し設定、目次作成、文書の完成			2.5時間
12	Office連携①:Excelで作成した表・グラフをWordに活用			2.5時間
13	Office連携②:Word・Excelの内容をPowerPointに反映			2.5時間
14	3ソフトを連携した課題制作			2.5時間
15	授業全体の振り返り、終了試験			5時間
合計時数				40時間
終了成果物・修了試験・修了課題				
授業内課題・演習成果物				
評価方法・評価基準				
<p>授業への取り組み・出席状況(日常点):1/3 実習課題評価:1/3 筆記試験:1/3</p>				
教科書・参考書・資料・文献				
『Microsoft PowerPoint 基礎』、『Microsoft Excel 基礎』、『Microsoft Word 基礎』 FOM出版				
担当教員の経歴・実務経歴		教員種別	科目所属科長	
株式会社アスキー、株式会社内外出版社にて15年以上の実務を担当し、PCスキルの知見を豊富に持つ。		専任教員	ファッション総合科 伏見幸恵	

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	業界人講話	科目区分	一般教養科目	
履修期間	特別講座	履修要件	なし	
必修・選択	選択	単位数・回(実日程)	1単位	
設置学科・コース	全学科	対象課程	基礎課程	
教員		授業担当・外部講師	石川誠、花園和寿、鷺典子、伏見幸恵	
授業の概要(科目のねらい)				
<p>本授業はそれぞれの課程や専門技術の習得に資するタイミングで、各業界の第一線で活躍する著名な専門家・実務家を招き、最新の業界動向、キャリア形成、社会課題、実際の現場での経験などについて講話いただく特別講義である。学生は、実務家のリアルな言葉に触れることで、将来のキャリア形成に必要な視野を広げ、社会で求められる能力や姿勢を理解することを目的とする。</p>				
到達目標・習得技術				
<p>業界の構造・トレンド・課題について自分なりの考察をする機会として、実務的な視点から、学びとキャリア形成の重要性を理解する。講話内容をもとに、自らの今後の学習計画・進路選択を見直すことができる。積極的に質問や議論に参加する姿勢を身につける。</p>				
授業方法・形態				
<p>授業形態の基本方針としては在宅・課外学習を中心とした段階的演習型授業として運営するが、他授業の「キャリアデザイン」「業界研究」「産学連携」などの複数の授業と連動して、事前課題学習を進め、中間チェック、総括していく。準備段階から記録に関するまで、統括教員が学修進行を管理し、課題提示・提出・フィードバックを通じて、継続的な指導を行う。</p>				
項目	授業計画・内容			課外時数
1	学修の起点とする理解（「好き」と「専門」の違い整理）			3時間
2	興味関心の棚卸し（これまでの制作・学修・体験の振り返り、印象に残った出来事の抽出）			3時間
3	漠然とした興味を言語化した問いに変換			3時間
4	関心の焦点化（各自の関心とファッション業界の接続）			3時間
5	関心分野で活躍する人物・ブランド調査			3時間
6	仮説構築（ゲスト業界人について「なぜ今、関心が寄せられるか」「なぜ今、自分が関心を寄せるのか」）			3時間
7	準備・中核体験への接続（登壇者の経歴・思想分析）			3時間
8	疑問、問いの設計（関心を軸にした質問作成）			3時間
9	業界実務家による特別講話			2.5時間
10	再定義（振り返りと整理）現実の差異整理			3.5時間
11	新たな問いの抽出、関心			3時間
12	関心の再定義（より具体的・実践的な関心へ再構築）			3時間
13	キャリア構想、キャリアへの展開（成功へのルート多岐化）			3時間
14	学修計画への接続（制作・研究・インターンへの反映）			3時間
15	キャリア感の成長確認			3時間
終了成果物・修了試験・修了課題				
<p>講義後レポート(テーマ「講義の要点整理」「講師の話から得た学び」「今後のキャリアにどのように活かすか」)</p>				
評価方法・評価基準				
<p>評価項目と内容は、出席:1/3、レポート評価:1/3、聴講姿勢:1/3 事前申告者においては、オンライン聴講による出席も可、レポート未提出は単位不認定(提出期限:講義日から1週間以内)</p>				
教科書・参考書・資料・文献				
<p>指定なし(講師から関連資料配布)</p>				
担当教員の経歴・実務経歴			教員種別	科目所属科長
			基幹教員	ファッション総合科 伏見幸恵

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	SNSセルフプロデュース	科目区分	一般教養科目	
履修期間	後期	履修要件	なし	
必修・選択	選択	単位数・回(実日程)	1単位	11回
設置学科・コース	ファッション総合科モデルコース	対象課程	基礎課程	
教員	伏見幸恵	授業担当・外部講師	近藤耀司	
授業の概要(科目のねらい)				
<p>SNS時代に求められるコンテンツ企画力・制作力・分析力を身につけることを目的とする。 主要プラットフォームの特徴を学びながら、バズを生むコンテンツの構造やアルゴリズム理解、撮影・編集技術、SNS運用戦略、モデルとしてのブランディングまでを体系的に扱う。 最終的には、学生が実際に企画したSNSコンテンツを制作・発信し、分析しセルフプロデュースできるモデルを目指す</p>				
到達目標・習得技術				
<p>SNSごとの特徴やアルゴリズムを理解し、適切に企画を立てられる スマホのみで撮影・編集できる技術を習得する バズの構造を分析し、戦略的にコンテンツを制作できるモデルとしてのブランディング手法を学ぶ 法的・倫理的リスクを理解し、安全に発信できる</p>				
授業方法・形態				
<p>デモンストレーションからの実習を中心。 プレゼンテーションにおいては、学生同士の相互講評、評価を取り入れる。</p>				
項目	授業計画・内容			授業時数
1	オリエンテーション (授業概要、評価方法の説明)			2.5時間
2	SNS時代のメディア構造、特徴とアルゴリズム理解(各種プラットフォームの特徴/プラットフォームコンテンツの傾向)			2.5時間
3	「バズる」とは何か? 実例をもとに分析的に理解する			2.5時間
4	SNS向けコンテンツ企画 「どんな欲求に刺さるのか」共感を企画する技術・競合・類似コンテンツのリサーチ			2.5時間
5	SNS向けコンテンツ企画 「アイデア出しワークショップ」ミニ課題			2.5時間
6	SNS向けコンテンツ企画 「TikTok / YouTubeショート企画」			2.5時間
7	構成の分析 「0~3秒の重要性」「導入→展開→落ち(CTA)」			2.5時間
8	撮影技術① 画角・縦構図・ライティング・色			2.5時間
9	撮影技術② 音声収録・室内撮影・屋外撮影(簡易照明やレフの活用)			2.5時間
10	編集技術① 「CapCut / VN などの基本操作」(テロップ、BGM、スピード、カット割の基本)			2.5時間
11	編集技術② SNSで好まれる動画のテンポ・コンテンツブラッシュアップ			2.5時間
12	アカウント設計「ブランディング(インフルエンサーの構造)・世界観の統一」			2.5時間
13	リテラシー「炎上リスクと法・倫理・著作権」・PR案件の仕組み・企業が求めるモデルとは?			2.5時間
14	成果発表会・動画、アカウントのプレゼンテーション			5時間
15	終了テスト			2.5時間
合計時数				40時間
終了成果物・修了試験・修了課題				
課題動画				
評価方法・評価基準				
<p>課題 1/3、テスト結果1/3、日常点1/3 出席率が一定以下(例:3分の1以上欠席)であれば自動的に不合格とする場合あり</p>				
教科書・参考書・資料・文献				
担当教員の経歴・実務経歴			教員種別	科目所属科長
ジェンダーレス系男子として世間の注目を浴び、国内メディアのみならずニューヨークタイムズ、BBC等海外メディアでも取り上げられるインフルエンサーでありタレント			講師	ファッション総合科 伏見幸恵

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	ヘア&メイク	科目区分	一般教養科目	
履修期間	後期	履修要件	なし	
必修・選択	選択	単位数・回(実日程)	1単位	15回
設置学科・コース	ファッション総合科モデルコース	対象課程	基礎課程	
教員	名取瞳	授業担当・外部講師	藤井奈穂・かすみきりこ	
授業の概要(科目のねらい)				
ヘアメイクのテクニックを習得し、それによる印象の変化、みせ方を学ぶ				
到達目標・習得技術				
自分自身でみせたい印象となるヘアスタイリングとメイクアップテクニックを使って、モデルとして求められるイメージを自分自身で表現をできるようにする				
授業方法・形態				
授業スタートから前半は座学を主とし、ヘアメイクでの印象や見せ方の違いを学ぶ その後、各テーマに沿って自身でヘアメイクをほどこし、写真撮影をする				
項目	授業計画・内容			授業時数
1	オリエンテーション:ヘアメイク概論			2.5時間
2	見た目の印象の変わり方:メイクアップで変わる印象			2.5時間
3	見た目の印象の変わり方:ヘアスタイリングで変わる印象			2.5時間
4	見た目の印象の変わり方:ブツの重要性について			2.5時間
5	イメージメイク:シャープ&クールな印象のヘアメイクをつくり撮影			5時間
6	イメージメイク:カワイイ印象のヘアメイクをつくり撮影			2.5時間
7	イメージメイク:韓国アイドルのヘアメイクをつくり撮影			5時間
8	イメージメイク:ジェンダーレスのヘアメイクをつくり撮影			2.5時間
9	イメージメイク:ワイルド、ハード、ロックな印象のヘアメイクをつくり撮影			5時間
10	イメージメイク:エレガント・スタイリッシュなヘアメイクをつくり撮影			2.5時間
11	イメージメイク:クラシカルな印象のヘアメイクをつくり撮影			2.5時間
12	イメージメイク:セクシー・ゴージャスな印象のヘアメイクをつくり撮影			2.5時間
13	イメージメイク:女子は日本の王道アイドル、男子は濡れ感を基調としたヘアメイクをつくり撮影			5時間
14	実技テスト:セルフプロデュース(各自でテーマを決め、テーマに沿ったヘアスタイルをつくる)			5時間
15	テスト筆記試験			2.5時間
				合計時数
				50時間
終了成果物・修了試験・修了課題				
授業ごとの目標に対しての実習成果物となる写真、実技試験とコンセプトシート、筆記試験				
評価方法・評価基準				
各項目に標準点を置き講師からのレクチャーやアドバイスに対して「授業参加」25%、「課題提出・習熟度」25%、実施予定の「実技試験」と作品の「コンセプトシート」25%、「筆記試験」25%。				
教科書・参考書・資料・文献				
担当教員の経歴・実務経歴		教員種別	科目所属科長	
ヘアメイクアーティスト		講師	ファッション総合科 伏見幸恵	

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	体育 I	科目区分	一般教養科目	
履修期間	特別講座(年間スケジュールによる)	履修要件	なし	
必修・選択	選択	単位数・(実日程)	1単位(実日程)	2回
設置コース	全学科	対象課程	全課程	
教員	実行委員教職員	授業担当・外部講師	なし	
授業の概要、科目のねらい				
<p>本授業は、学生主体のスポーツイベント(運動会等)を通じて、体力向上とともにコミュニケーション能力や協働性を育むことを目的とする。(種目はリレー、綱引き、大縄跳びなど。学生は当日の競技参加に加え、事前準備や後日の振り返りレポートの作成を行う)</p>				
到達目標・習得技術				
<ul style="list-style-type: none"> ・チームでの協働を通じ、コミュニケーション力とリーダーシップを育成する ・身体活動を通じて健康的な生活習慣の重要性を理解する ・イベント企画・運営に関わる体験から、主体性・責任感を養う 				
授業方法・形態				
<p>『チームビルディング研修』体験型特別授業 本科目における事前準備期間の学修は、学生による組織的活動を中心とするが、教員の指導・管理のもとで計画的に実施される。教員は実行委員会を随時召集し、活動計画の確認、進捗管理、安全配慮に関する指導を行い、学生の活動が教育目標に沿って適切に進行するよう統括する。これにより、時間割外での活動を含めつつも、正課授業としての指導性、双方向性、評価性を確保している。</p>				
回	授業計画・内容			課外時数
1	ガイダンス/運動体育科目としての位置づけ (心身成長と組織形成)			3時間
2	身体理解と他者認識 (心身身体能力、集団における多様性理解)			3時間
3	参加関与と役割意識 (実行委員会編成)			3時間
4	コミュニケーション (チーム編成・信頼関係構築)			3時間
5	スポーツイベント企画立案 (心身負荷と安全性配慮した競技設定)			3時間
6	運動会企画立案 (自立主体性と競技種目バランス、組織運用))			3時間
7	調整力形成 (意見調整・合意形成)			3時間
8	事前準備 (用具・進行確認)			3時間
9	スポーツイベント実施 (競技参加)			3時間
10	身体的負荷・心理的反応の振り返り			3時間
11	改善計画策定(発展・反省会)			3時間
12	運動会事前準備 (心身のセルフマネジメント)			3時間
13	運動会実施 (競技参加)			5時間
14	健康意識の定着 (心身成長の振り返り)			2時間
15	今後の学生生活への活用 (振り返りレポート)			2時間
課題成果物・修了試験・修了課題				
実行委員会議事録 振り返りレポート				
評価方法・評価基準				
授業・行事への参加態度:1/3、組織活動・役割遂行:1/3、振り返りレポート:1/3 無断欠席は単位不認定(やむを得ない場合は別課題による補填) レポート未提出は単位不認定				
教科書・参考書・資料・文献				
スポーツ・レクリエーション事典 著:日本レクリエーション協会				
担当教員の経歴・実務経歴				科目所属科長
				ファッション総合科 伏見幸恵

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	グラフィックデザイン実習 I	科目区分	職業専門科目	
履修期間	通年	履修要件	なし	
必修・選択	必修	単位数・回(実日程)	2単位	30回
設置学科・コース	ファッション総合科 モデルコース	対象課程	基礎課程	
教員	田中 小百合	授業担当・外部講師	田中 小百合	
授業の概要(科目のねらい)				
MacPCを利用したグラフィック制作ソフト(Illustrator・Photoshop)の基礎知識、基礎技術の習得。 座学と実践を通じてデザイン構築の4大原則を学び、より魅力的でユーザー目線に立ったデザインを制作するための知識を養う。 MacPCの基本的な操作を学び、実務で活用するためのPCスキルを習得する。				
到達目標・習得技術				
1.MacPCの扱い方を始め、Illustrator、Photoshopなどのデザイン制作ソフトの基本操作を学ぶ 2.デザインを構築するためのノウハウを学び、チラシやDMなどの紙面や、EC制作に応用ができる技術と知識を習得する 3.画像形式などの種類や使い分けに関する基礎知識を学び、デジタル分野におけるデータの取り扱い方法を習得する				
授業方法・形態				
主にMacPCを使用した実習と、座学。前面モニターでは教員がソフトを操作する様子がリアルタイムに投影されており、その操作手順を確認しながら、学生1人1人に割り当てられたPCで実際に作業の練習を行い、ソフトの操作方法や技術を習得していく。時には作品制作を通して自身の技術の習得度を測り、苦手な作業分野の再習得と、得意な分野の更なる向上を目指す。				
項目	授業計画・内容			授業時数
1	授業内容の説明、PC周辺機器に関する基礎知識(座学)、ソフトの種類の説明、MacPCの基本操作、ソフト基本操作			2.5時間
2	Illustrator基本操作の習得: 選択ツール、図形の描画と変形、色の付け方を簡単なイラスト制作で学ぶ			2.5時間
3	Illustrator基本操作の習得: コピーとペースト、回転、反転、線ツールを使ってアイコンを制作する			2.5時間
4	ハンガーイラストの作成: 線ツール・ペンツール、パスの結合をマスターし、ベジェ曲線・ベクターデータを理解する			5時間
5	メニュー表の作成: 文字ツール、クリッピングマスク、写真を組み合わせたデータの制作方法を学ぶ			5時間
6	自己紹介シートの作成: 文字パネルの使い方、文字の組み方からレイアウトデザインを学ぶ			5時間
7	ルックブックの作成: 写真を多用したデータの取り扱い方、データの書き出し方法を学ぶ			5時間
8	中間チェック: カタログの作成: ページものの作成を通じて、基礎的な操作方法の習得、レイアウト能力の確認			7.5時間
9	イベントチラシの作成: デザイン4大原則に基づいた、より実践的に見栄えのあるレイアウトを組む方法			7.5時間
10	Photoshop基本操作の習得: ソフトの違いについて復習、操作説明、簡単な画像加工からPhotoshopの導入			7.5時間
11	選択ツール各種、選択とマスク、切り抜きを使った合成写真の作成を通して写真加工のテクニックを学ぶ			7.5時間
12	歪みツール、文字ツール、フィルターを利用した、より複雑な画像加工テクニックを学ぶ			7.5時間
13	夏休みの思い出雑誌制作: 解像度について(座学)、印刷に適したデータの作り方			7.5時間
14	オリジナルブランド制作: ターゲットの設定方法(座学)から、より市場を意識したデザイン構築の方法			7.5時間
15	Illustrator・Photoshop/期末テスト(ペーパー、実技)による習得度の確認			2.5時間
			合計時数	82.5時間
終了成果物・修了試験・修了課題				
筆記テストにおけるPC・ソフトの基本用語、基本知識の確認/実技テストにおける操作方法の習得状況の確認				
評価方法・評価基準				
・期末テスト(筆記・実技テスト): 1/3 ・作品、課題評価(ソフトやPCに関する知識の理解・技術の習得度、オリジナリティの表現、応用力): 1/3 ・日常点(授業態度、参加姿勢、出席率などの評価項目): 1/3				
教科書・参考書・資料・文献				
Adobeラーニング、アドビ認定プロフェッショナル対応Photoshop試験対策(オデッセイコミュニケーションズ) アドビ認定プロフェッショナル対応Illustrator試験対策(オデッセイコミュニケーションズ) Photoshopしっかり入門(SBクリエイティブ)、Illustratorしっかり入門(SBクリエイティブ)				
担当教員の経歴・実務経歴			教員種別	科目所属科長
阿佐ヶ谷美術専門学校 卒業 広報物のインハウスデザイナー兼、デザイン系ソフトの講師として教務を担当。企業向けセミナー講師の経験有り。			基幹教員	ファッション総合科 石川 誠

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	ファッションビジネス概論	科目区分	職業専門科目	
履修期間	前期	履修要件	なし	
必修・選択	必修	単位数・回(実日程)	2単位	18回
設置学科・コース	ファッション総合科	対象課程	基礎課程	
教員	石川誠	授業担当・外部講師	石川誠	
授業の概要(科目のねらい)				
<p>「ファッションビジネス能力検定3級(ファッションビジネス知識)」合格を目標に、ビジネス科学生がアパレル業界の基礎知識を体系的に習得することを目的とする。検定範囲(業界構造・流通・販売・MD・マーケティングなど)を重点的に学習し、出題傾向を押さえた演習を通じて、検定合格力と実務基礎力を同時に養うこと</p>				
到達目標・習得技術				
<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネス能力検定3級の出題範囲を網羅し、過去問正答率80%以上を達成できる。 ・アパレル業界の構造(生産・流通・小売)と各職種(MD・バイヤー・VMD)の役割を正確に説明できる。 ・消費者動向・トレンドサイクルとビジネス戦略の関連性を理解し、事例で説明できる。 ・検定形式(四択問題・用語記述)の解法パターンを習得し、本番で時間内に解答できる。 				
授業方法・形態				
<p>過去問解説講義→用語暗記・計算問題演習→模擬試験実施&復習。 評価: 模擬試験平均点(60%)、小テスト(20%)、提出物(20%)。 目標: 検定合格率90%以上、基礎知識の定着。</p>				
項目	授業計画・内容			授業時数
1	ガイダンス/検定概要と出題傾向			2.5時間
2	ファッション業界の全体構造:市場規模、トレンドの捉え方			2.5時間
3	アパレル企業組織と職種①			2.5時間
4	アパレル企業組織と職種②			2.5時間
5	マーチャンダイジング 商品知識①:素材と品質			2.5時間
6	マーチャンダイジング 商品知識②:仕様と縫製			2.5時間
7	流通①:卸売と小売の仕組み			2.5時間
8	流通②:物流と在庫管理			2.5時間
9	セールス 販売促進①:販促の種類			2.5時間
10	セールス 販売促進②:顧客管理			2.5時間
11	小テスト①/用語確認演習			2.5時間
12	マーケティングの基礎 消費者と市場①:購買行動			2.5時間
13	マーケティングの基礎 消費者と市場②:市場セグメント			2.5時間
14	法規①:消費者保護法規			5時間
15	前期まとめ/模擬テスト①			2.5時間
合計時数				40時間
終了成果物・修了試験・修了課題				
日本ファッション教育振興協会主催 ファッションビジネス能力検定3級(ビジネス知識)合格				
評価方法・評価基準				
<ul style="list-style-type: none"> ・出欠率:1/3 ・課題提出(ワークレポート、プレゼンテーション等):1/3 ・終了テスト:1/3 				
教科書・参考書・資料・文献				
日本ファッション教育振興協会発行 ファッションビジネス2級 新版、ファッションビジネス3級 新版、及過去問題集				
担当教員の経歴・実務経歴			教員種別	科目所属科長
国内デザイナーブランドへ総合職入社。退職後、渡英、ロンドン・カレッジ・オブ・ファッションにてファッションマーケティング/プロモーションを専攻。小売/卸営業、バイヤー、マーチャンダイザー、商品部長/営業部長を歴任。□			基幹教員	ファッション総合科 石川 誠

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	ファッション造形知識	科目区分	職業専門科目	
履修期間	前期	履修要件	なし	
必修・選択	必修	単位数・回(実日程)	2単位	15回
設置学科・コース	ファッション総合科	対象課程	基礎課程	
教員	石川誠	授業担当・外部講師	吉岡文子	
授業の概要(科目のねらい)				
ファッションビジネス能力検定3級の資格取得を目指し、ファッション造形知識全般の習得を目的とする。 ファッション業界で使用している専門用語の理解と対応力。				
到達目標・習得技術				
ファッションビジネス能力検定 ファッション造形知識3級の問題を基準とし、正解率80%を目指す。 これによりファッション業界の仕事を理解し、職種選択やキャリアプランに広がりを持つ。				
授業方法・形態				
講義(インタラクティブボード、iPadを使用) / 講義内容の小テストを毎回実施 / グループワーク(iPadを使用し課題資料作成) <input type="checkbox"/>				
項目	授業計画・内容			授業時数
1	「ファッション、デザインの定義と特性」:トレンドとファッション範囲を学習			2.5時間
2	「衣服とアパレルデザインの基礎知識」:衣服の役割、デザインとアートの違いを学習			2.5時間
3	「繊維とアパレルの基礎知識」:繊維製品と服飾雑貨を学習			2.5時間
4	「コーディネート基礎知識」:代表的なコーディネート手法を学習			2.5時間
5	「ビジネスにおけるスタイリング提案」:代表的なスタイリング手法を学習			2.5時間
6	「ディスプレイの基礎知識」:ディスプレイの必要性とディスプレイ技法を学習			2.5時間
7	「アパレルアイテムの基礎知識」:アパレルアイテムの名称と商品分類を学習			2.5時間
8	「シルエット、ディテールの基礎知識」:代表的なシルエットとディテールの名称を学習			2.5時間
9	「品質表示、サイズの基礎知識」:繊維指定用語とJISに基づくサイズ表示方法を学習			2.5時間
10	「繊維、糸、染色の基礎知識」:繊維の分類、紡績、染色加工を学習			2.5時間
11	「デザイン画と製品図の理解」:デザイン画の目的と製品図活用法を学習			2.5時間
12	「デザインと機能の基礎知識」:アパレルに求められる装飾性と実用性を学習			5時間
13	「色彩、柄の基礎知識」:色の特性と代表的な柄の名称を学習			5時間
14	「アパレル製造の基礎知識」:商品企画から製品、商品になるまでを学習			5時間
15	期末試験			2.5時間
合計時数				45時間
終了成果物・修了試験・修了課題				
ファッション、デザインの定義と特性、繊維とアパレル、アパレルアイテム名称、ディスプレイ方法、 代表的なシルエットとディテール名称、色彩、柄などファッション造形の基礎知識全般を習得 <input type="checkbox"/>				
評価方法・評価基準				
"課題 1/3、テスト結果1/3、日常点1/3 出席率が一定以下(例:3分の1以上欠席)であれば自動的に不合格とする場合あり <input type="checkbox"/>				
教科書・参考書・資料・文献				
『ファッションビジネス能力検定3級公式テキスト』 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会				
担当教員の経歴・実務経歴			教員種別	科目所属科長
国内アパレルブランドのデザイナー職、MD職として勤務			講師	ファッション総合科 伏見幸恵

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	プロポーション美学	科目区分	職業専門科目	
履修期間	前期	履修要件	なし	
必修・選択	必修	単位数・回(実日程)	2単位	15回
設置学科・コース	ファッション総合科モデルコース	対象課程	基礎課程	
教員	伏見幸恵	授業担当・外部講師	山田奈生子	
授業の概要(科目のねらい)				
<p>モデルや俳優など表現者として活動するために必要なプロポーションの考え方と外見づくりの基礎知識を学ぶ。人体バランスや体型の見せ方、美容・ヘアメイク・スタイリングの基本理論を理解し、自己の魅力を客観的に捉える力を養う。さらに職業としてのモデル・俳優の仕事を理解し、目指すイメージを外見表現として具体的に構築・表現できる基礎力の習得を目的とする</p>				
到達目標・習得技術				
<p>内面と外見の双方を高める意識を持ち、感性を磨くための日常的な取り組みやイメージアップ、セルフケアの方法を理解する。自己の魅力や個性を客観的に把握し、目的に応じた外見づくりや表現方法を身につけることを目標とする。撮影に向けて準備を行い、表現者としての意識を高めながらポートフォリオ制作につながる基礎的な表現力と自己プロデュース力を習得する</p>				
授業方法・形態				
講師の講義＋展示＋生徒による実習→毎時間評価				
項目	授業計画・内容			授業時数
1	オリエンテーション:授業の目的や進め方を理解し、モデルとしての心構えや自己管理の重要性を学ぶ			2.5時間
2	スキンケア:肌質の種類や特徴を理解し、モデルとして必要な日常のスキンケア方法と肌管理を学ぶ			2.5時間
3	顔のゴールデンプロポーション:顔の黄金比を理解し、バランスの取れたメイクの基本理論を学ぶ			2.5時間
4	ヘア①:顔型の種類と特徴を理解し、それぞれに適したヘアスタイルやバランスの考え方を学ぶ			2.5時間
5	ヘア②:髪質の種類と特徴を理解し、髪質に合わせたヘアケア方法や基本的な整え方を学ぶ			2.5時間
6	ナチュラルメイク実習①:ベースメイクの基本を理解し、肌づくりと立体感を意識した空間処理を学ぶ			2.5時間
7	ナチュラルメイク実習②:顔の印象を左右するアイブロウメイクの基本と整え方を実習で学ぶ			2.5時間
8	ナチュラルメイク実習③:基本的なアイメイクの方法を学び、目元の印象を整える技術を習得する			2.5時間
9	ナチュラルメイク実習④:リップとチークの入れ方を学び、顔全体のメイクバランスを整える			2.5時間
10	似合う色を知る:ベストカラー診断を通して、自分に似合う色と印象の違いを理解する			2.5時間
11	自己の印象を知る:骨格診断を通して体型の特徴を理解し、似合うスタイリングの基本を学ぶ			2.5時間
12	前期中間メイク試験:これまで学んだナチュラルメイク技術の理解度を確認する実技試験を行う			2.5時間
13	撮影実習準備:撮影に向けた外見づくりやメイク、衣装のイメージ準備と確認を行う			5時間
14	撮影実習:メイクやスタイリングを整え、ポートフォリオ用写真の撮影を実践する			5時間
15	前期終了試験:授業内容の理解度を確認し、外見づくりと自己表現力の総合評価を行う			5時間
合計時数				45時間
終了成果物・修了試験・修了課題				
撮影実習評価、前期中間メイク試験、前期終了試験				
評価方法・評価基準				
<p>課題 1/3、テスト結果1/3、日常点1/3 出席率が一定以下(例:3分の1以上欠席)であれば自動的に不合格とする場合あり</p>				
教科書・参考書・資料・文献				
「Gバランス美人メイクの基本」西島 悦				
担当教員の経歴・実務経歴			教員種別	科目所属科長
日本美容専門学校卒業 株式会社大森メソッドにてイメージコンサルタント養成講座を20年担当			講師	ファッション総合科 伏見幸恵

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	演技表現論	科目区分	職業専門科目	
履修期間	後期	履修要件	なし	
必修・選択	必修	単位数・回(実日程)	2単位	15回
設置学科・コース	ファッション総合科モデルコース	対象課程	基礎課程	
教員	伏見幸恵	授業担当・外部講師	田口萌	

授業の概要(科目のねらい)

広告・アパレル業界に通用するモデル(パフォーマー)として表現力、想像力を養成し、演技の基礎技術を身に付けることを目的とする。
またセルフプロデュース力を養い、どの場面においても健全に澁刺と感性豊かに自らを表現できる人間性の向上を目指す。

到達目標・習得技術

自分らしさを自由に表現できる精神と肉体をつくる
広告、CMの現場などにおいて、初見であっても台詞・ナレーション原稿等を難なく覚え、話せる基礎力を身に付ける
求められる演出に対して、さまざまな表情や動作で豊かな感情表現ができることを目指す

授業方法・形態

社会における「モデル」の役割の理解・発声および滑舌基礎訓練・感情表現を養う演技課題の取り組み・自由表現と感性を養うエチュード(即興)演技。芝居用台本を用いて、ペアまたはグループワークで実習。外部から俳優を招いてセッションをしたり、現代アクションの講師による身体表現も行う。

項目	授業計画・内容	授業時数
1	モデルにとっての、演技力・表現力の必要性の理解(「演じるとは何か」講義&ディスカッション)	2.5時間
2	舌根と表情筋を鍛える(基礎訓練A>呼吸・発声・滑舌「外郎売」)	2.5時間
3	滑舌鍛錬/臆せず台詞を言える(基礎練A・舞台演劇二人芝居台本を演じる>読み・動作①)	2.5時間
4	滑舌鍛錬/臆せず台詞を言える(基礎練A・舞台演劇二人芝居台本を演じる>読み・動作②)	2.5時間
5	滑舌鍛錬/自然な表情で台詞が言える(基礎練A・映像ドラマ台本を演じる>読み・動作①)	2.5時間
6	滑舌鍛錬/自然な表情で台詞が言える(基礎練A・映像ドラマ台本を演じる>読み・動作・発表②)	2.5時間
7	滑舌鍛錬/アクションレッスン:肉体を使った表現を学ぶ①	2.5時間
8	滑舌鍛錬/アクションレッスン:ショート作品の台本を用いてアクションありで演じる②	2.5時間
9	グループワークでオリジナル演技台本(3分以内)を作成する①	2.5時間
10	グループワークでオリジナル演技台本(3分以内)を作成し、自由に演じる②	2.5時間
11	グループワークでオリジナル演技台本を、自由に演じて動画撮影する②>発表	2.5時間
12	滑舌鍛錬/アフメーション(想像力の訓練)およびエチュード(即興演技)①	2.5時間
13	滑舌鍛錬/アフメーション(想像力の訓練)およびエチュード(即興演技)②	2.5時間
14	商材を選択して、1分以内のCM動画を企画する(グループワーク)①	2.5時間
15	商材を選択して、1分以内のCM動画を企画・演技・撮影する(グループワーク)②>発表	5時間
合計時数		40時間

終了成果物・修了試験・修了課題

各課題取り組みに対するレポート提出/滑舌課題暗唱/即興演技課題/集団演技課題

評価方法・評価基準

・実技や実践授業後にレポートを提出。理解度を確認し、評価・採点の対象とする4/10
・試験日に限らず、授業内の実技課題の実践ごとに評価記録を作成し、採点の際に用いる6/10
・出席率が一定以下(例:3分の1以上欠席)であれば自動的に不合格とする場合あり

教科書・参考書・資料・文献

滑舌課題(外郎売ほか)/劇団 球研究生基礎課題引用/劇団 球上演作品台本、およびTVDドラマ作品脚本からの引用/外部講師(殺陣師)

担当教員の経歴・実務経歴	教員種別	科目所属科長
1985年～>モデル(スチール・CM・ショー)・俳優(TV・映画・舞台)・劇作家・演出家 2011年～「劇団 球」主宰(作・演出にてオリジナル上演作多数)	講師	ファッション総合科 伏見幸恵

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	ウォーキング I	科目区分	職業専門科目	
履修期間	前期	履修要件	なし	
必修・選択	必修	単位数・回(実日程)	2単位	34回
設置学科・コース	ファッション総合学科 モデルコース	対象課程	基礎課程	
教員	伏見幸恵	授業担当・外部講師	津曲久美子、寺山由記	

授業の概要(科目のねらい)

モデルを目指す学生を対象に、プロモデルに必要なウォーキングとポージングの基礎から応用までを実技中心に学ぶ授業である。姿勢、歩き方、視線、表情などモデルとしての身体表現力を身につけ、撮影やランウェイに対応できる実践力を養う。また、タレントや俳優など他分野で活動する際にも必要となるセルフプロデュース力や自己表現力を高め、オーディションや現場で自分の魅力を効果的に伝えられる力の習得を目指す

到達目標・習得技術

モデル事務所への所属を目標に、プロモデルとして求められる基本的なウォーキング技術とポージング技術を習得する。姿勢、歩き方、ターン、視線、表情などの身体表現を磨き、撮影やランウェイ、オーディションに対応できる実践力を身につける。また、現場で必要となる礼儀や挨拶、時間管理などのマナーを理解し、社会人として信頼される行動力を養うことで、モデル・タレント・俳優など幅広い分野で活動できる基礎力の習得を目指す

授業方法・形態

・実技を反復、継続を丁寧に行う ・プロポーション作りに毎月採寸をし、必要な体力作り、運動、知識については講師を招く

項目	授業計画・内容	予定時数
1	オリエンテーション。授業の目的・進行説明、自己紹介を行い、体型把握のための採寸を実施する	5時間
2	モデルの仕事内容や業界の仕組みを理解し、モデルに求められる立ち振る舞いや意識を学ぶ	5時間
3	正しい基本姿勢を学び、基礎ウォーキングとポージングを実践。動画撮影で姿勢や歩き方を確認する	5時間
4	基本ウォーキングを反復練習し、美しい歩き方を習得。体型把握のための採寸も実施する	7.5時間
5	ランウェイで必要となる1/4ターン・1/2ターンの基本動作を学び、滑らかな動きを練習する	5時間
6	歩行を安定させる足指の動かし方を学び、柔軟体操を取り入れ身体の可動域を広げる	7.5時間
7	浴衣・着物着用時のポーズ、見せ方、歩き方を学び、着物のたたみ方など基礎知識も習得する	5時間
8	着物ショーを想定し、和装の美しい所作やポージング、見せ方を実践形式で学ぶ	5時間
9	ウォーキングの応用として1回転ターンを習得し、自然で美しい動作を身につける	5時間
10	フロアショーを想定した見せ方を学び、観客を意識した動きや表現力を身につける	7.5時間
11	ステージショーを想定し、舞台上での歩き方や立ち位置、ポージングなどを実践的に学ぶ	7.5時間
12	基本姿勢を再確認し、応用ウォーキングとして表現力やバリエーションを広げる練習を行う	7.5時間
13	オーディションを想定した入退場、ウォーキング、ポージングを実践し対応力を高める	5時間
14	期末テスト実施	5時間
15	夏休み課題説明。ファッションブランド研究を行い、モデル視点でブランド理解を深める	2.5時間
合計時数		85時間

終了成果物・修了試験・修了課題

・基本ウォーキング & 自己PR度(応用編)

評価方法・評価基準

課題 1/3、テスト結果1/3、日常点1/3
出席率が一定以下(例:3分の1以上欠席)であれば自動的に不合格とする場合あり

教科書・参考書・資料・文献

担当教員の経歴・実務経歴	教員種別	科目所属科長
現役モデルであり、モデル事務所にて新人モデル育成にも注力している	講師	ファッション総合科 伏見幸恵

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	ウォーキングⅡ	科目区分	職業専門科目	
履修期間	後期	履修要件	あり	
必修・選択	必修	単位数・回(実日程)	2単位	28回
設置学科・コース	ファッション総合学科 モデルコース	対象課程	基礎課程	
教員	伏見幸恵	授業担当・外部講師	津曲久美子、寺山由記	
授業の概要(科目のねらい)				
<p>モデルを目指す学生を対象に、プロモデルに必要なウォーキングとポージングの基礎から応用までを実技中心に学ぶ授業である。姿勢、歩き方、視線、表情などモデルとしての身体表現力を身につけ、撮影やランウェイに対応できる実践力を養う。また、タレントや俳優など他分野で活動する際にも必要となるセルフプロデュース力や自己表現力を高め、オーディションや現場で自分の魅力を効果的に伝えられる力の習得を目指す</p>				
到達目標・習得技術				
<p>モデル事務所への所属を目標に、プロモデルとして求められる基本的なウォーキング技術とポージング技術を習得する。姿勢、歩き方、ターン、視線、表情などの身体表現を磨き、撮影やランウェイ、オーディションに対応できる実践力を身につける。また、現場で必要となる礼儀や挨拶、時間管理などのマナーを理解し、社会人として信頼される行動力を養うことで、モデル・タレント・俳優など幅広い分野で活動できる基礎力の習得を目指す</p>				
授業方法・形態				
<p>・実技を反復、継続を丁寧に行う ・プロポーション作りに毎月採寸をし、必要な体力作り、運動、知識については講師を招く</p>				
項目	授業計画・内容			予定時数
1	前期内容の復習として基本姿勢やウォーキングを確認し、体型把握のための採寸を実施する			5時間
2	素足でのウォーキング練習を行い、正しい重心の取り方や身体のバランスを学ぶ			5時間
3	床に引いた1本のライン上を歩き、正しい足幅や美しい歩行バランスを習得する			5時間
4	歩行時の手の振り方や指先の表現を学び、手先まで意識した美しい動作を身につける			5時間
5	フォーマルウエアを想定し、衣装を美しく見せる歩き方や立ち振る舞いを学ぶ			5時間
6	ロングドレスやウエディングドレス着用時の歩き方や所作、裾さばきの方法を学ぶ			5時間
7	ステッキや傘など小物を使ったポージングや歩き方など、小物の扱い方を習得する			5時間
8	ジャケットやコートの脱ぎ方・着方を学び、衣装を美しく見せる動作を練習する			5時間
9	ストールやマフラーの扱い方を学び、動きの中で美しく見せる表現を習得する			5時間
10	バッグの持ち方や見せ方を学び、衣装とのバランスを意識したポージングを行う			5時間
11	ショー形式を想定し、ウォーキングからポージングまでの流れを実践的に学ぶ			5時間
12	卒業ショーを想定し、ウォーキングやポージングなど本番を意識した練習を行う			5時間
13	ブランド研究としてファッションショー映像を鑑賞し、表現や演出を分析する			5時間
14	これまでの内容を総合的に確認し、ウォーキングとポージングの実技テストを行う			5時間
15	オーディションを想定したウォーキングや立ち振る舞いを学び、対応力を高める			5時間
合計時数				87.5時間
終了成果物・修了試験・修了課題				
<p>・基本ウォーキング & 自己PR度(応用編)</p>				
評価方法・評価基準				
<p>課題 1/3、テスト結果1/3、日常点1/3 出席率が一定以下(例:3分の1以上欠席)であれば自動的に不合格とする場合あり</p>				
教科書・参考書・資料・文献				
担当教員の経歴・実務経歴			教員種別	科目所属科長
現役モデルであり、モデル事務所にて新人モデル育成にも注力している			講師	ファッション総合科 伏見幸恵

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	フォトセッション	科目区分	職業専門科目	
履修期間	通年	履修要件	なし	
必修・選択	必修	単位数・回(実日程)	3単位	29回
設置学科・コース	ファッション総合学科 モデルコース	対象課程	基礎課程	
教員	伏見幸恵	授業担当・外部講師	津曲久美子、寺山由記	

授業の概要(科目のねらい)

プロのカメラマンによるフォトセッションを通して、撮影現場で求められるポージングや表情の作り方を実践的に学ぶ授業である。カメラ前での立ち振る舞いや指示への対応など、撮影現場に必要なマナーやコミュニケーション力を身につける。また、撮影した作品を自身のポートフォリオとして活用し、モデルだけでなくタレントや俳優など幅広い分野で活動するためのセルフプロデュース力を高め、自分の魅力を効果的に発信できる力の習得を目指す

到達目標・習得技術

撮影現場で求められる表情やポージングを状況に応じて巧みに変化させ、カメラ前で自分の魅力を効果的に表現できる技術を習得する。カメラマンの指示を理解しながら柔軟に対応する力や、現場で必要となる基本的なマナーやコミュニケーション力も身につける。また、撮影作品をポートフォリオとして活用し、モデル事務所への所属やオーディション、仕事獲得へとつなげられる実践的な表現力とセルフプロデュース力の習得を目標とする

授業方法・形態

・プロカメラマンの目線とプロモデルからのアドバイス ・スタジオやロケ等の撮影現場での対応力を養う為、多様なシチュエーション作りをして撮影

項目	授業計画・内容	予定時数
1	撮影の基礎を学び、体のラインが分かるスタイリングで白バック撮影を行う。好きなファッションで自己表現を確認する	5時間
2	好きなファッションでロケ撮影を行い、スポーティな動きや自然なポージング、表情の作り方を実践的に学ぶ	7.5時間
3	ストーリー性を意識した撮影を行う。明るいグレーバックでジャケットを着用し、姿勢を意識した表現力を高める	5時間
4	ロックテイストの撮影に挑戦し、感情を込めたポージングを学ぶ。浴衣撮影では腕の動きや所作を確認する	7.5時間
5	カジュアルスタイルと宣材写真の撮影を行い、成長過程を確認する。アメカジスタイルで表現の幅を広げる	5時間
6	カラフルでポップな衣装を用い、明るい表情や動きを表現する。ヘアメイク雑誌を想定したビューティ撮影	7.5時間
7	前期ショー衣装で撮影を行う。クラスメイトと衣装交換を行い、新たなスタイリングや表現を発見する	5時間
8	屋上ロケ撮影を実施し、自然光を活かしたナチュラルな宣材写真のポージングや表情を学ぶ	5時間
9	バック紙とテーマを設定しモード系撮影を行う。シャープな動きや表情などモード表現を習得する	7.5時間
10	秋のロケ撮影を行い、コートやニット、アクセサリーを活かしたスタイリングの見せ方を学ぶ	7.5時間
11	ドレスリーな衣装やスーツで撮影を行い、柔らかな動きやウエディングを想定した表現を学ぶ	7.5時間
12	事務所提出用の宣材写真を撮影し、コンポジット制作を想定したポージングや表情を確認する	5時間
13	ベージュ系衣装と暖色系バック紙で撮影を行い、落ち着いた雰囲気表現やポージングを学ぶ	5時間
14	白バックや薄いグレーバックで撮影を行い、基本ポージングと表情の完成度を高める	5時間
15	自分に最も似合う衣装で撮影を行い、個々の強みを確認しながら授業全体のまとめを行う	5時間
合計時数		90時間

終了成果物・修了試験・修了課題

・コンポジット作成 ・book作成

評価方法・評価基準

課題 1/3、テスト結果1/3、日常点1/3
出席率が一定以下(例:3分の1以上欠席)であれば自動的に不合格とする場合あり

教科書・参考書・資料・文献

担当教員の経歴・実務経歴	教員種別	科目所属科長
現役モデルであり、モデル事務所にて新人モデル育成にも注力している	講師	ファッション総合科 伏見幸恵

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	ダンスレッスン	科目区分	職業専門科目	
履修期間	前期	履修要件	なし	
必修・選択	必修	単位数・回(実日程)	1単位	16回
設置学科・コース	ファッション総合科モデルコース	対象課程	基礎課程	
教員	伏見幸恵	授業担当・外部講師	浅井みどり	

授業の概要(科目のねらい)

ダンスレッスンを通して、リズム感や身体表現力を養いながら、人前に立つ姿勢や表現する楽しさを学ぶ授業である。基本的なステップや身体の使い方を身につけ、音楽に合わせて自分の感情や個性を表現する力を高める。また、ステージでのパフォーマンスを通して自分自身の動きや見え方を客観的に捉える力を養い、モデルやタレントなど人前で活動するための表現力と自信を身につけることを目的とする

到達目標・習得技術

オーディションなどでダンスを披露できる基礎的なダンス力を身につけるとともに、リズム感や身体の使い方を習得し、音楽に合わせて表現できる身体表現力を養う。また、継続的なレッスンを通してモデルとして活動する上で必要な体力や体幹を強化し、粘り強く取り組む精神力も育てる。さらに、人前で踊る経験を通して自分の見え方を客観視し、ステージで自信を持って表現できる力の習得を目標とする

授業方法・形態

基本的に実技で、1限目はマットを使いストレッチや体幹トレーニング、筋トレ、アイソレーションやダンスの基本動作を念入りにし、2限目で音楽に合わせて振付を踊ったり、振りを作ったりする。ヒップホップやジャズダンスなど色々なダンス全般を学ぶ。

項目	授業計画・内容	授業時数
1	オリエンテーションを行い自己紹介を実施。音楽とダンスの関係やカウントの教え方を学び、UP・DOWNの基本ステップを練習す	2.5時間
2	アイソレーションやストレッチ、体幹トレーニングを行い、正しい姿勢を意識しながらヒップホップダンスの基礎を学ぶ	2.5時間
3	アイソレーションとストレッチを行い、体幹を意識した姿勢づくりとヒップホップ基礎ステップの反復練習を行う	2.5時間
4	基礎トレーニングを行いながらヒップホップの基本動作を組み合わせ、リズム感と身体表現力を高める	2.5時間
5	基礎トレーニングとヒップホップ基礎を行い、前期ショーで使用する楽曲を決め振付演習を開始する	2.5時間
6	基礎トレーニングとヒップホップ基礎を継続し、前期ショー振付の流れを確認しながら練習を行う	2.5時間
7	ヒップホップ基礎を反復練習し、前期ショー振付の動きを確認しながら表現力を高める	2.5時間
8	基礎トレーニング後、ヒップホップ応用ステップを学び、前期ショー振付の完成度を高める	2.5時間
9	ヒップホップ応用の動きを取り入れ、前期ショー振付を通して踊りながら表現力を高める	2.5時間
10	基礎トレーニング後、ジャズダンスの基礎を学び、前期ショー振付に新たな表現を加える	5時間
11	ジャズダンス基礎の動きを練習し、身体のラインや動きの美しさを意識した表現を学ぶ	2.5時間
12	ジャズダンス基礎を継続し、前期ショー振付の流れを確認しながら完成度を高める	2.5時間
13	ジャズダンス応用の動きを取り入れ、振付の表現力とパフォーマンス力を向上させる	2.5時間
14	ジャズダンス応用を通して振付を通して踊り、ステージを意識した動きの確認を行う	5時間
15	前期の実技テストを実施し、振付を通して踊りながら前期授業の総まとめを行う	2.5時間
合計時数		45時間

終了成果物・修了試験・修了課題

実技テスト(HIPHOPとジャズダンスの基礎)と、前期ショーへの取り組み姿勢や前期ショーの本番自体が課題となる。

評価方法・評価基準

課題 1/3、テスト結果1/3、日常点1/3
出席率が一定以下(例:3分の1以上欠席)であれば自動的に不合格とする場合あり

教科書・参考書・資料・文献

場合に応じて動画参照する。

担当教員の経歴・実務経歴	教員種別	科目所属科長
プロフェッショナルダンサー、ダンス講師や振付師として20年以上のキャリアをもち、数々のアーティストやミュージカル、商業演劇などの舞台に携わってきた。近年はアルゼンチンタンゴダンサー、講師として国内外で活躍中。2021年のアジアチャンピオン。	講師	ファッション総合科 伏見幸恵

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	栄養学	科目区分	職業専門課程	
履修期間	後期	履修要件	なし	
必修・選択	必修	単位数・回(実日程)	2単位	16回
設置学科・コース	ファッション総合科モデルコース	対象課程	基礎課程	
教員	伏見幸恵	授業担当・外部講師	島田 奈美・風間 幸代	

授業の概要(科目のねらい)

生化学および栄養学の基礎を理解し、健康的な食生活を実践するための知識を身につける授業である。栄養素の働きや身体との関係を学び、日常の食事管理に活用できる力を養う。また、モデルとして活動する上で重要となる体型形成や体型維持、健康管理について理解を深め、無理のない食生活や生活習慣を身につけることを目的とする。習得した知識を日常生活に活かし、自己管理能力の向上を目指す

到達目標・習得技術

自身の身体の状態を客観的に把握し、栄養や健康に関する正しい知識を基に体調管理ができる力を身につける。栄養素の働きや食事バランスを理解し、モデルとして必要な体型維持や健康管理に活用できる自己管理能力を養う。また、講義内容に基づいた調理実習を行うことで栄養知識を実践的に理解し、日常生活で活用できる基本的な調理技術と食生活管理能力の習得を目標とする

授業方法・形態

講義 + 講義内容に順じた課題提出 + 調理実習によるグループワーク

項目	授業計画・内容	授業時数
1	オリエンテーションを行い、五大栄養素の基礎を学ぶ。理想体型の考え方を理解し、体組成計で自身の身体状態を確認する	2.5時間
2	時間栄養学と体内時計の関係を学び、健康的に長く働くための食生活や生活リズムの整え方を理解する	2.5時間
3	調理実習①を行い、栄養バランスを意識した献立と基本的な調理方法を学び、食事と栄養の理解を深める	5時間
4	ボディメイクとたんぱく質の働きを学び、理想体型づくりに必要な栄養摂取と食事管理の考え方を理解する	2.5時間
5	骨の栄養について学び、骨密度と美容・健康の関係を理解し、骨を強くするための食事を考える	2.5時間
6	血液の栄養について学び、鉄分の働きや貧血予防の食事を理解し、体調管理への活用を考える	2.5時間
7	調理実習②を行い、栄養バランスを意識した献立づくりと基本的な調理技術を実践的に学ぶ	5時間
8	腸内環境の整え方を学び、腸内細菌と健康や美容の関係を理解し、食生活への取り入れ方を考える	2.5時間
9	免疫力を高める栄養について学び、健康維持や体調管理に役立つ食事のポイントを理解する	3時間
10	ホルモンバランスと栄養の関係を学び、体調や美容に影響する食生活の整え方を理解する	3時間
11	調理実習③を行い、講義内容を踏まえた献立づくりと調理を通して栄養の理解を深める	5時間
12	抗酸化の働きを学び、若々しさや健康維持に必要な栄養素と食事のポイントを理解する	3時間
13	抗糖化と美肌の関係を学び、肌の健康を保つための食事や生活習慣について理解する	3時間
14	脂質の種類と働きを学び、抗炎症作用を持つ栄養素や健康的な脂質の摂り方を理解する	3時間
15	調理実習④を行い、授業内容を振り返りながら栄養バランスを意識した調理と総まとめを行う	5時間
合計時数		50時間

終了成果物・修了試験・修了課題

筆記テスト・調理実習課題

評価方法・評価基準

課題 1/3、テスト結果1/3、日常点1/3
出席率が一定以下(例:3分の1以上欠席)であれば自動的に不合格とする場合あり

教科書・参考書・資料・文献

オールガイド食品成分表2025 実務出版

担当教員の経歴・実務経歴	教員種別	科目所属科長
フードサービス業界にて、レシピ開発やイベント企画、コラム執筆など手がけ、病院での栄養管理や個別栄養指導を行っている。	講師	ファッション総合科 伏見幸恵

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	スタイリング	科目区分	職業専門科目	
履修期間	通年	履修要件	なし	
必修・選択	必修	単位数・回(実日程)	3単位	32回
設置学科・コース	ファッション総合科	対象課程	基礎課程	
教員	伏見幸恵	授業担当・外部講師	遠藤麻希子、中野みずき	
授業の概要(科目のねらい)				
洋服や商品をより魅力的に見せるという意識を植え付け、アパレル撮影の幅広い知識を得ることでECサイト運営や、エンタメ業界で求められる知識、技術、表現力の取得 作品作りでの協調性の育成、また自分が表現する世界観、スタイリングの具現化、他者に伝えるための言語化ができるようにする人材育成				
到達目標・習得技術				
撮影現場研修に参加するための敬語、業界ルール、ビジネスマナーを理解、スチーマー、仮留め、裁縫ができる。 トルソー、モデルに対するフィッティング、サイズ調整を正しくできる。 より良い作品作りのために自分や他者の意見を尊重して客観的に判断しまとめ、協力して完成させることができる。 自分が作成したスタイリングについてファッション用語を用いて、要点をまとめて提案することができる。				
授業方法・形態				
アパレル業界の基本ルール、専門用語、ビジネスマナーの講義。 スタイリストアシスタント、及びディスプレイ研修に必要なスチーマー、仮留め、裁縫技術、トルソーディスプレイ技術の基礎と実践。 各コースの特性を生かしたグループ制作課題(スチール撮影)、個人完結型制作課題(コラージュ、テーマ別スタイリング作成、プレゼンテーション)				
項目	授業計画・内容			授業時数
1	「研修制度、業界ルール」: 守秘義務、ビジネスマナー、業界ルール、撮影の流れ			7.5時間
2	「世界観の構築」: コラージュ、テーマ別スタイリング作成			7.5時間
3	「フィッティング、着替え補助」: 体型に合わせたサイズ調整、トルソーディスプレイ、撮影の着替え補助			10時間
4	「スチーマーの基礎技術」: アイロン表示、素材、デザイン別にスチーマーをする技術の習得			5時間
5	「裁縫実技」: 裾上げ、サイズ調整の仮留め、サイズ詰めの方法			5時間
6	「スチール撮影」: グループごとに撮影のテーマ設定、撮影の立ち会い方について			5時間
7	「レディース デザインファッション用語」: 衿、袖の名称/体型別コーデグループディスカッション			5時間
8	「サイズ表記について」: 洋服、靴の海外と日本サイズについて			5時間
9	「レディース デザインファッション用語」: トップス、ボトム、靴の名称			12.5時間
10	「映画ファッションの考察」: 映像作品の衣装、インテリアから時代背景、登場人物の考察			5時間
11	「映画ファッションの落とし込み」: 年代別の映画ファッションから現代ファッションへの落とし込み			5時間
12	「自社ブランドカタログ」: ブランドコンセプト、ロゴ、ターゲット設定 アパレルささげ業務の実践			5時間
13	「自社ブランドカタログ」: スタイリングシート作成、採寸、商品撮影、テキスト作成 プレゼン発表			7.5時間
14	「春夏トレンドリサーチ」: 春夏トレンドリサーチ			5時間
15	「春夏トレンドリサーチ」: トレンドスタイリング作成、プレゼン発表			5時間
合計時数				95時間
終了成果物・修了試験・修了課題				
コラージュ作成、トルソーディスプレイ、スタイリング作成、映画ファッション、自社ブランドカタログ、春夏トレンドリサーチ、(PowerPointによる資料作成、プレゼン発表)、グループ撮影(シチュエーションに沿ったスチール撮影)、筆記試験(アパレル業界のルール、ファッション用語)語)				
評価方法・評価基準				
課題 1/3、テスト結果1/3、日常点1/3 出席率が一定以下(例: 3分の1以上欠席)であれば自動的に不合格とする場合あり				
教科書・参考書・資料・文献				
「スタイリングブック」高村是州 著				
担当教員の経歴・実務経歴			教員種別	科目所属科長
遠藤麻希子 スタイリスト 中野みずき スタイリスト(レディースを中心に雑誌、、スチール、ライブ現場など多ジャンルを担当口)			講師	ファッション総合科 伏見幸恵

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	オーディション対策	科目区分	職業専門科目	
履修期間	後期	履修要件	なし	
必修・選択	必修	単位数・回(実日程)	1単位	15回
設置学科・コース	ファッション総合科モデルコース	対象課程	基礎課程	
教員	伏見幸恵	授業担当・外部講師	伏見幸恵	

授業の概要(科目のねらい)

モデルを目指す学生がオーディションにおいて就職活動を進めるうえで必要となる基礎知識と実践力を身につけることを目的とする。自己分析・他己分析を通して自身の強みや適性を理解し、エントリーシートの作成や面接対策、社会人として求められる基本的な振る舞いも学ぶ。

到達目標・習得技術

就職活動に必要な準備を主体的に進められる力を身につけることである。自己分析・他己分析を通して自身の強みや価値観、適性を言語化し、業界・企業研究に基づいた進路選択ができることを目指す。また、履歴書やエントリーシートを正確かつ魅力的に作成でき、面接やオーディションの場面で基本的なビジネスマナーを実践できる力を養う。

授業方法・形態

講義を中心に、ワークシートを用いたディスカッション、課題を組み合わせる実施する。□

項目	授業計画・内容	授業時間数
1	就職活動の流れ(オリエンテーション):授業概要や評価方法を説明し、モデル業界における就職活動の流れと事務所選定の視点を理解する□	1.25時間
2	自己分析:自身の性格や価値観、強みや適性を整理し、モデルとしての方向性や就職活動に活かす自己理解を深め	1.25時間
3	他己分析/他者からの評価や意見を参考に自己の特徴や魅力を客観的に把握し就職活動に活かすための分析を行	1.25時間
4	モデル業界研究/国内主要モデル事務所の特徴や活動分野を調べ、モデル業界の構造や求められる人物像を理解	1.25時間
5	希望するモデル事務所の特徴や活動内容を調査し、自身の志向との適合性を考える	1.25時間
6	事務所の活動分野や所属モデルの傾向を調べ、各事務所の特徴を整理し理解を深める	1.25時間
7	調査結果を整理し、自身の適性や将来目標に合った志望事務所を具体的に検討する	1.25時間
8	履歴書の基本構成と書き方を理解し、自己PRや志望動機を適切に表現する②	1.25時間
9	履歴書作成を実践し、自己PRや志望動機を分かりやすく表現する方法を習得する	2.5時間
10	宣材写真やコンボジットの役割を理解し、モデル活動に必要な写真の種類を学ぶ	1.25時間
11	写真の選び方やポートフォリオの構成方法を理解し、効果的な見せ方を学ぶ	2.5時間
12	自身の写真を整理し、魅力を伝えるポートフォリオ構成を具体的に検討する	2.5時間
13	入室時のマナーや基本的な挨拶を学び、オーディションでの立ち居振る舞いを理解する	2.5時間
14	面接での受け答えや自己紹介の方法を学び、実践を通して表現力を高める	2.5時間
15	学期末終了テスト/授業内容の理解度を確認し、就職活動に必要な知識や準備状況を総合的に評価する	1.25時間
合計時数		25時間

終了成果物・修了試験・修了課題

企業リサーチ、履歴書などの作成を成果物とし、授業内課題および総合演習の提出

評価方法・評価基準

課題 1/3、テスト結果1/3、日常点1/3
出席率が一定以下(例:3分の1以上欠席)であれば自動的に不合格とする場合あり

教科書・参考書・資料・文献

担当教員の経歴・実務経歴	教員種別	科目所属科長
国内ブランドのPR	実務家教員	ファッション総合科 伏見幸恵

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	スタイリング撮影実習	科目区分	職業専門科目	
履修期間	特別講座	履修要件	なし	
必修・選択	必修	単位数・回(実日程)	2単位	15回
設置学科・コース	ファッション総合科モデルコース	対象課程	基礎課程	
教員	伏見幸恵	授業担当・外部講師	スタイリストFUKAMI	

授業の概要(科目のねらい)

本授業では、実際のスタイリスト業務の流れを体験しながら、企画立案から撮影、作品発表までを総合的に学ぶ。テーマ設定や企画書制作、モデルへのオファー、衣装リース・管理、コーディネート制作、撮影現場での対応、写真セレクト、プレゼンテーションまで一連の工程を実践することで、現場対応力やコミュニケーション力、スタイリング力を身につけ、即戦力となる人材育成を目指す。

到達目標・習得技術

撮影テーマに基づいた企画立案からスタイリング、撮影運営、作品発表までを主体的に行える力を身につける。衣装リース管理やモデル対応、フィッティング、現場での演出指示など実践的なスタイリスト業務を通し、現場対応力・コミュニケーション力・提案力を習得する。また、写真セレクトやプレゼンテーションを通じて、自身の世界観を的確に表現・発信できる技術を養う。

授業方法・形態

授業は実習形式を中心に進行し、企画立案から撮影・プレゼンテーションまでを段階的に実践する。学生自身がテーマ設定やコーディネート制作を行い、モデル対応や衣装管理、撮影現場での進行も担当する。教員による講義・フィードバックを交えながら、グループワークや実践演習を通して現場力を養う。また、制作過程の振り返りや講評を行い、表現力と課題解決力の向上を図る。

項目	授業計画・内容	授業時数
1	スタイリスト業務概要と課題内容説明	2.5時間
2	撮影テーマ設定と企画立案の方法理解	2.5時間
3	コンセプトに沿った企画書制作・提出	4.5時間
4	モデルコース学生へ出演オファー実施	0.5時間
5	アパレル企業への衣装リース依頼準備	2.5時間
6	リース商品の受取・ブランド別管理作業	2.5時間
7	コーディネート別にラック整理・構成確認	2.5時間
8	テーマに沿った衣装コーディネート制作	2.5時間
9	撮影衣装へのスチーマー作業と最終確認	2.5時間
10	モデルフィッティングとサイズ調整対応	2.5時間
11	撮影現場でのモデルへの演出指示練習	2.5時間
12	撮影中の衣装チェックとスタイリング管理	2.5時間
13	撮影終了後の衣装整理・返却作業実施	2.5時間
14	写真データ確認と使用カットセレクト作業	2.5時間
15	制作過程と作品発表による最終プレゼン実施	5時間

終了成果物・修了試験・修了課題

企画書、撮影作品

評価方法・評価基準

日常点(授業参加、態度、出席率)1/3、作品評価1/3、プレゼンテーション評価1/3
出席率一定以下(3分の1以上欠席)であれば自動的に不合格とする場合あり

教科書・参考書・資料・文献

担当教員の経歴・実務経歴	教員種別	科目所属科長
国内ブランドのPR	実務家教員	ファッション総合科 伏見幸恵

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	卒業修了ショー実習	科目区分	総合科目
履修期間	特別講座	履修要件	なし
必修・選択	必修	単位数・回(実日程)	1単位
設置学科・コース	ファッション総合科	対象課程	専門課程・基礎課程
教員	石川誠	授業担当・外部講師	石川誠・石川和男
授業の概要(科目のねらい)			
<p>後期授業「卒業ファッションショー企画」を立案した卒業予定学生が中心となり、在校生と協働してショー開催を実現するプロジェクト型演習である。企画プレゼンテーションで決定した内容をもとに、広報・会場設営・制作補助・演出補助・運営管理などを分担し、開催日までの約10日間を実践期間として運営を行う。チームビルディングを成果物とし「リーダーシップとフォロワーシップ」「ピアラーニングによる知識共有」「ジグソー法による専門性分担」「プロジェクト進行管理」に重点を置く。学年間協働による実践を通し、ファッション業界で求められる協働力・調整力・実行力を養成する。</p>			
到達目標・習得技術			
<p>1.テーマ設定と研究背景を明確し、コンセプトに基づいた一貫性のあるファッション作品の制作力 2.制作プロセスを論理的に記録・考察(ポートフォリオ) 3.作品をファッションショー環境で専門的視点からの評価を受ける</p>			
授業方法・形態			
<p>実践的プロジェクトマネジメント、協働におけるリーダーシップ/フォロワーシップを発揮できるピアラーニング(アクティブラーニング型演習、プロジェクトベースラーニング)プロジェクトの実行段階で具体、臨地化する。</p>			
項目	授業計画・内容	授業時数	
1	「卒業ショー企画内容の再確認」:	5時間	
2	「チームビルディング演習」:価値観共有ワーク、役割理解、役割分担ワーク、作業学習	2.5時間	
3	「ジグソー法による専門分担決定」:責任分野の分担、広報/会場/演出/制作補助などの専門グループの組織	2.5時間	
4	「専門グループ別技術共有」:制作技術指導、進行管理方法共有(ピアラーニング①)	2.5時間	
5	「管理要件別技術共有」:リスクマネジメント、スケジュール設計(ピアラーニング②)	2.5時間	
6	「ショー企画全体統合ミーティング」:全体工程、管理、人員問題確認、進捗共有方法確立	2.5時間	
7	「実践作業①下地準備」:キックオフ	2.5時間	
8	「実践作業②広報展開、制作補助作業」:	2.5時間	
9	「実践作業③会場、バックステージ構成作業」:立込	2.5時間	
10	「実践作業④課題の洗い出し」:演出確認、問題点、進捗再調整	2.5時間	
11	「実践作業⑤チェックリスト作成」:技術リハーサル	2.5時間	
12	「実践作業⑥内容、技術修正」:ショーリハーサル	2.5時間	
13	「実践作業⑦」:本番リハーサル(確認)	2.5時間	
14	「本番」:運営&記録	2.5時間	
15	「振り返り・成果共有」相互評価、次年度への提言作成	2.5時間	
時間外授業合計時数			7.5時間
終了成果物・修了試験・修了課題			
<p>最終成果物、中間成果物、制作プロセス記録 卒業・終了作品</p>			
評価方法・評価基準			
<p>参加態度・貢献度:1/3 チームワーク評価:1/3 最終引き継ぎ提言書:1/3</p>			
教科書・参考書・資料・文献			
適宜資料配布、アクティブラーニング実践事例資料			
担当教員の経歴・実務経歴		教員種別	科目所属科長
国内外ブランドでのデザイナー職		基幹教員 実務家	ファッション総合科 伏見幸恵

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	職業人基礎力と協働演習	科目区分	総合科目	
履修期間	在学期間	履修要件	なし	
必修・選択	必修	単位数・回(実日程)	1単位	1～4回
設置学科・コース	全学科	対象課程	全課程	
教員	石川和男	授業担当・外部講師		
授業の概要(科目のねらい)				
<p>ファッション産業の実務現場の理解。(展覧会、舞台芸術、物流センター、生産工場など、クリエイティブから生産・配送までの全工程を体験的に把握)ものづくりへの理解と技術的視点の強化。(工場・ワークショップ参加を通じ、素材、加工、工程管理などの実務を知る)文化的背景と表現の関係を学ぶ。</p>				
到達目標・習得技術				
<p>課題解決型学習(PBL)やサービスラーニングの手法を用い、学内での協働活動を通して、社会で求められる職業人基礎力を身につけることを目的とする。 履修者は在学期間を通じて以下を達成することを目標とする。 ・周囲と協働し、役割を理解して与えられた業務を責任をもって継続的に遂行できる ・社会貢献や組織運営への参画意識を身につける</p>				
授業方法・形態				
<p>日常的な学内活動(週番作業、大掃除、行事運営補助等)をPBL課題として位置づけ、サービスラーニングとして評価・単位認定を行う実践型科目である。 学生は在学期間を通して、計画・実行・振り返り(PDCA)を繰り返しながら、協働力・責任感・主体性を養う。 在学期間を通じて継続的に実施する実践型科目であり、上記15回の授業計画は学修プロセスを示したものである。</p>				
項目	授業計画・内容			課外時数
1	授業の目的、評価方法、履修上の注意の理解。社会人基礎力の解説(前に踏み出す力/考え抜く力/チームで働く力)			3時間
2	学内活動の意義と社会的役割の理解			3時間
3	協働活動の基礎(週番作業実践)			3時間
4	協働活動における課題認識(作業効率や環境改善に関する気づきの共有)			3時間
5	作業の実践(協働行動の定着)			3時間
6	協働作業の課題発見と改善検討			3時間
7	計画的な協働活動の実践(協力して目標を達成す経験の蓄積)			3時間
8	大掃除等のプロジェクト計画立案(集団内の役割について)			3時間
9	協働活動の実践と調整			3時間
10	社会人基礎力の自己評価(中間成果確認)			3時間
11	サービスラーニングとしての位置づけ理解(学内活動が組織や他者に与える影響の理解)			3時間
12	主体的行動の実践と原理			3時間
13	リーダーシップの実践実習			3時間
14	調整役・まとめ役の経験			3時間
15	学修成果の確認			3時間
合計時数				45時間
終了成果物・修了試験・修了課題				
活動記録(週番作業・協働活動)				
評価方法・評価基準				
活動実績(活動記録)・行動観察評価:100%				
教科書・参考書・資料・文献				
『社会人基礎力育成の手引き』 経済産業省				
担当教員の経歴・実務経歴			教員種別	科目所属科長
				ファッション総合科 伏見幸恵

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	海外研修	科目区分	総合科目	
履修期間	集中講座7日間(年度により異なる)	履修要件	参加費自己負担・最少催行人数あり	
必修・選択	選択	単位数・回	1単位	
設置学科・コース	全学科	対象課程	全課程	
教員	石川誠	授業担当・外部講師	添乗員・現地職能スタッフ	
授業の概要(科目のねらい)				
<p>現地のアパレルブランド、デザインスタジオ、プレスルームを訪問し、国際的なグローバル視点でファッション産業の構造を学ぶ。 デザインリサーチ能力や創作力を高めることを目的に現地クリエイターやプレス担当者との交流を通じ、基本的な業界英語(または現地語)に触れて、国際コミュニケーション能力の強化。文化施設、美術館などを巡り、デザインソースやトレンドの背景を理解し、自己の創作活動への応用とする。</p>				
到達目標・習得技術				
<p>世界のファッションブランドのデザイン工程・広報戦略を理解。 現地文化の観察を通して、新たなデザインソースを抽出。 自身のクリエイションに研修で得たインスピレーションを活用できる。 研修内容を整理し、レポート・プレゼンテーションとしてまとめられる。</p>				
授業方法・形態				
<p>デモンストレーションからの実習を中心。 プレゼンテーションにおいては、学生同士の相互講評、評価を取り入れる。</p>				
項目	授業計画・内容			課外時数
1	ファッションに関する国際感覚の基礎理解の形成			2時間
2	ファッション都市の業界構造理解(産業構造、メゾン、アトリエ、職人、教育機関の関係性)知見の蓄積			2時間
3	専門領域の焦点化①(世界的メゾン・ブランド研究)知見の蓄積			2時間
4	専門領域の焦点化②(各自の専門性と結びつけて観察できる領域視点作り)			2時間
5	個人テーマ、フィールドワーク設計(経験準備・主体的な問いの設定)			2時間
6	出発前レクチャー(現地最新ニュース、、交通・安全レクチャー)			2時間
7	出発・現地到着(現地ガイダンス/異文化コミュニケーション)			2時間
8	デザインスタジオ訪問(有名ブランド、または新鋭ブランドのデザインスタジオ見学、ワークショップ)			5時間
9	プレスルーム・ショールーム・展示会訪問(コレクション見学、ブランドイメージ構築の手法のワークショップ)			5時間
10	文化施設・美術館の見学「ファッション、アート、歴史資料の観察」(例:ルーヴル、V&A、MoMA など)			5時間
11	実践的体験・フィールドワーク(理論と事前理解の現場検証)			5時間
12	経験の再構築「研修内容の資料整理、研修前後比較・分析による考察			3時間
13	成果物制作(視覚的・論理的表現の検討)			3時間
14	研修を「一過性」としない学習の展開(学修成果の発信)			3時間
15	成果総括(今後の学修・制作への活用、キャリアへの活用計画)			3時間
終了成果物・修了試験・修了課題				
<p>代理店からの配布資料(デジタル) 現地ワークシート</p>				
評価方法・評価基準				
<p>参加姿勢、提出物、記録ノート:50% 終了レポート:50%</p>				
教科書・参考書・資料・文献				
<p>各国ファッション協会発行メディア(Première Visionなど) 代理店からの訪問先資料</p>				
担当教員の経歴・実務経歴			教員種別	科目所属科長
				ファッション総合科 伏見幸恵